

令和3年度丹波篠山市学力・生活習慣状況調査の調査結果について

(第1学年)

1学期に実施しました丹波篠山市学力・生活習慣状況調査の本校の分析結果をまとめましたので、お知らせします。

なお、本調査は、生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的としています。調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことを踏まえつつ、保護者や地域の皆様の理解と協力のもとに、適切に連携を図りながら、一層の指導上の工夫改善に努めますので、学校の教育活動に対してご支援いただきますようお願いいたします。

【国語】

○目標値に達している項目

- ・「目的に応じて自分の考えを伝える」
- ・「指定された長さで文章を書く」

○課題のある項目

- ・「小学校で学習した漢字を書く」
- ・「文法・語句（連用修飾語）」

○対策

全体的には目標値とほぼ同程度でありおおむね良好です。文を書くことに抵抗がなく、記述問題はすべて目標値を大きく上回っています。また、説明文や文学作品の内容の読み取りもおおむね良好です。

一方、文法や語句に関する問題に課題が見られました。文法ワーク等を活用し、言葉の定義を押さえた学習に、より力を入れていきます。

【数学】

○目標値に達している項目

- ・「数と計算」
- ・「データの活用」

○課題のある項目

- ・「図形」
- ・「変化と関係」

○対策

全体的には目標値とほぼ同程度でありおおむね良好です。観点別に見ると、速さ・道のり・時間の関係や円グラフの見方など「知識・技能」の定着に課題が見られます。授業では、それらの関係を確認したり問題文をやさしい数に置き換えるなどして基礎基本の力をつけ、活用する力を伸ばしていきます。

【生活・学習習慣】

「自己認識」「社会性」「学級環境」において、大変良好な回答がみられます。家族や友達、先生に支えられていると感じており、苦しい時やつらい時に相談することもできています。またクラスやグループで話し合いをするときに、自分の意見を積極的に発言できています。ただ、友達と意見がちがったときに正しいと思ったことを主張したり、納得できる方法を考えて提案したりすることが苦手な生徒がいます。

今後も、自分の意見を言ったり、お互いに認め合ったりする授業や取組を行い、自分の思いを伝える力を伸ばしていきます。